



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# 株式会社 MonotaRO

5

## — 中小企業向け間接資材（MRO）ネット通販サイト MonotaRO.com —

株式会社 MonotaRO は、2000 年 10 月住友商事と工場用間接資材を取り扱う米国グレンジャー社の出資により設立された。同年にオープンしたインターネットサイト「MonotaRO.com」は、手袋やマスク、各種工具類、オイル・ケミカル類など、製造業や自動車整備業、工事業などで使われる、いわゆる間接資材（MRO）を幅広く取り扱う事業者向け通販サイトである。オープン以来、順調に会員数と収益を伸ばし続けた MonotaRO.com は、2005 年に黒字を実現し、2006 年 12 月に東証マザーズ、2009 年 12 月には東証 1 部に上場した。2013 年 12 月現在には売上高 345 億円と営業利益率 11.8% を達成し、日本全国に 1,122,291 件の顧客数（登録口座数）を保有するに至っている。

10

15

MonotaRO.com の顧客は、6 割以上が 30 人以下の企業で構成されており、500 人以上の企業は 1 割に留まる。そのうち、製造業が 47%、自動車アフターマーケットが 15%、建設業・工事業が 17% となっており、注文方法については、2003 年は FAX 経由が約 6 割だったが、2013 年 12 月には約 8 割が WEB 経由の注文となっている。

20

## 間接資材（MRO）市場

MonotaRO.com が販売する間接資材（MRO）とは、「Maintenance, Repair and Operations」の頭文字をとっており、直訳すれば「設備維持・保全・稼動に必要な消耗用品」という意味になる。具体的には、事務用品や OA 機器などのオフィス MRO、工場消耗品や工場交換部品などの工場 MRO、実験・研究用品などの研究所 MRO、そして自動車整備用品やトラック・バイク・自転車用品などの自動車アフターマーケットなど、幅広い資材が MRO 市場に含まれる。MRO の特徴は、単価が安く、

25

本ケースは、博報堂コンサルティング(株) 吉田寿美、同社 何之冰、慶應義塾大学大学院経営管理研究科 余田拓郎が共同で作成した。本ケース作成にあたって、(株)MonotaRO 代表取締役社長 鈴木雅哉氏、IR・広報・内部統治室室長 山崎知子氏、木原隆太氏の協力を得た。この場を借りてお礼申し上げたい。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 吉田寿美、何之冰、余田拓郎（2014 年 11 月作成）